

予算審査特別委員会

令和8年2月27日（金曜日）

予 算 審 査 特 別 委 員 会

令和8年2月27日（金曜日）

付議事件

委員長の互選

副委員長の互選

出席者（8名）

委員長 永井孝佳

委員 松木源太郎

委員 片桐文夫

委員 崎山華英

委員 伊場哲也

委員 常世田正樹

委員 戸村ひとみ

議長 宮内保

欠席委員（2名）

副委員長 平山清海

委員 木内欽市

傍聴議員（なし）

事務局職員出席者

事務局長 穴澤昭和

事務局書記 加瀬哲也

開会 午後 5時 4分

○議会事務局長（穴澤昭和） 本会議でお疲れのところ、ご苦労さまでございます。

予算委員会を開催するに当たりまして、すみません、木内委員と平山委員はちょっと今早退という形で……

（発言する人あり）

○議会事務局長（穴澤昭和） もうしばらくよろしく願います。

委員長が選出されるまでは、年長議員の松木委員にお願いいたしますので、どうぞよろしくお願います。

（座長 松木源太郎 座長席に着席）

○座長（松木源太郎） では、始めましょう。

ただいまご指名いただきました松木源太郎でございます。

委員長が選出するまで、しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

ただいまの出席委員は7名、委員会は成立いたしました。

それでは、ただいまより予算審査特別委員会を開会いたします。

本日、宮内議長に出席をいただいておりますので、ご挨拶をお願いいたします。

○議長（宮内 保） 委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

ただいま本会議におきまして、9名の皆様に予算審査特別委員会委員を選任いたしました。

これから正副委員長の互選がございますが、本委員会は令和8年度の予算という重要な審査があります。十分なる審査をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

○座長（松木源太郎） ありがとうございます。

それでは、初めに当委員会の委員長の選出を行いたいと思います。

委員長選出方法については、いかがいたしましょうか。

（「指名推選」の声あり）

○座長（松木源太郎） 指名推選。

では、どうぞ、片桐委員。

○委員（片桐文夫） 指名推選で。

○座長（松木源太郎） では、指名推選にしたいと思います。

おはかりいたします。

選出の方法は指名推選にしたいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○座長（松木源太郎） 異議なしと認め、よって、選出の方法は指名推選といたします。

では、どなたか推薦をお願いいたします。

片桐委員。

○委員（片桐文夫） 期数からいったら、ちょうど中間からもう上のほうになってきた永井孝佳委員が委員長にふさわしいかと思えます。

○座長（松木源太郎） 今、片桐委員から永井孝佳委員について、委員長にというご意見がございました。

（「賛成」「異議なし」の声あり）

○座長（松木源太郎） 永井委員を委員長とすることでよろしいですか。

（「結構です」の声あり）

○座長（松木源太郎） では、お願いいたします。

ご異議なしと認めます。

ここで、私、委員長と交代させていただきます。

では、委員長、よろしく申し上げます。

（委員長 永井孝佳 委員長席に着席）

○委員長（永井孝佳） 今、ご推挙いただきました永井です。よろしく申し上げます。

予算審査が円滑に行くように努めますので、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

それでは、引き続き当委員会の副委員長の選出を行いたいと思えます。

それでは、副委員長の選出方法ですが、いかがいたしましょうか。

片桐委員。

○委員（片桐文夫） 委員長のときと同じように、指名推選で。

○委員長（永井孝佳） ただいま指名推選の声がありました。

おはかりいたします。

選出の方法は指名推選にしたいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（永井孝佳） それでは、どなたか推薦をお願いいたします。

片桐委員。

○委員（片桐文夫） 副委員長につきましては、常世田正樹委員に。適任かと思えます。

○委員長（永井孝佳） では、ただいま片桐委員より、副委員長に常世田委員とのご意見がございましたが、常世田委員を副委員長にすることでよろしいでしょうか。

（発言する人あり）

○委員長（永井孝佳） すみません。常世田委員、ご意見ありますか。

○委員（常世田正樹） 拒否権はないんですか。正直に言いますけれども、平山委員、木内委員、早退されていますけれども、どちらかが副委員長が適任だと私は思います。

（発言する人あり）

○委員（常世田正樹） 平山委員か木内委員のどちらかに副委員長をやっていただきたいと思っています。

○委員長（永井孝佳） 伊場委員、ご意見をどうぞ。

○委員（伊場哲也） 今、常世田委員がおっしゃられた、いないのを指名推選みたいにするのは、ちょっとうんと思えますけれども、でも、おっしゃった意見ももつともだというふうに思いますので、私は平山清海委員がいいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（永井孝佳） では、今、常世田委員と伊場委員から、平山委員がいいのではないかとこのご意見がありましたけれども、平山委員を副委員長とすることでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（永井孝佳） 異議なしと認めます。

よって、平山委員が副委員長に決定いたしました。

副委員長の挨拶はできませんので、割愛します。

なお、ただいま正副委員長の選出結果については、この後、本会議において議長より報告をしていただきます。宮内議長、よろしくお願いいたします。

次に、事務局より予算審査の日程及び各議案の審査方法について説明がありますので、よろしくをお願いいたします。

局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 書いてあるとおりでございます。

皆さんがご承知であれば、私の説明は省かれることとなりますが。

（発言する人あり）

○議会事務局長（穴澤昭和） 丁寧な説明が大事だと私は思っていましたので、よろしくお願いいたします。

さらっと行ってしまいますからね。

それでは、ただいまお手元に配付しました審査の日程及び審査方法案をご覧ください。

予算審査の日程については、ご承知のとおり3月の6、9、10日の3日間を予定しています。常任委員会の所管ごとの審査という形でいきますので、よろしくお願いいたします。当然、執行部の出席も所管ごとになります。

各日程の審査する議案についてですけれども、3月6日は、議案第1号のうち総務常任委員会所管事項と議案第2号になります。

3月9日は、議案第1号のうち文教福祉常任委員会の所管事項と議案第3号から議案第5号までとなります。

3月10日、議案第1号のうち建設経済常任委員会の所管事項と議案第6号から議案第8号までとなります。

まず審査ですね。

審査は、議案ごとに歳入歳出を併せて一括質疑、一括答弁で行います。

表決になりますけれども、3月10日の議案第8号までの審査が終わりましたら、議案第1号から議案第8号までの8議案を行います。

もうちょっと待ってくださいね。まだ本会議もありますからね。

次に、審査する上での注意点ということで、赤字で書いてある部分になります。

その中で、まず、表の審査方法の欄をご覧くださいいたきたいんですけれども、その中の議案第1号の一般会計予算になりますが、款を明記してあります。

その4款衛生費の部分について、これがまたがることになりますので、説明します。

まず、総務常任委員会の中では、4款衛生費のうち、131ページ、予算書になりますけれども、看護学生入学支度金貸付事業及び中央病院の負担金については、これは企画政策課の所管になりますから総務常任委員会の所管になっています。

次の9日、文教福祉常任委員会の所管の審査では、4款の衛生費ですけれども、126ページの保健衛生総務費から141ページの母子保健費までが文教のときの審査の対象になります。

10日、建設経済常任委員会の所管の審査のときには、4款衛生費は、環境課所管の141ページの環境衛生費から150ページの塵芥処理費までがこの建設、10日の日の審査の対象となります。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

○委員長（永井孝佳） 事務局の説明は終わりました。

日程及び審査方法について、ご意見ございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（永井孝佳） 特に意見がないようですので、予算審査日程及び審査方法については、資料案のとおりに進めさせていただきます。

なお、3月6日の議案第1号、一般会計予算については、1款は議会費となりますので、2款の総務費から審査しますので、よろしく申し上げます。

以上をもちまして、予算審査特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 5時13分